

様式 1

## 大会参加支援申請書

氏名		男・女	年齢 (2023年4月1日現在)	才
所属				職 学年
自宅住所			メール アドレス	
支援希望額	円	大会参加 予定日	月 日 ~ 月 日 (泊)	
大会準備委員会設置の保育室の利用	<input type="checkbox"/> 有 【 月 日 ~ 月 日 (日)】 <input type="checkbox"/> 無			
支援の使途：旅費，保育や介護に関わる費用など，内訳を明記してください。				
支援を必要とする理由				

## <記入例1—申請書>

別紙様式1

### 大会参加支援申請書

氏名	○ ○ ○ ○	男・(女)	年齢 (2023年4月1日現在)	34才
所属	△▽大学大学院 ○○専攻		職 学年	助教
自宅住所	〒XXX-XXXX ○○区 ○○町 ○—○—○		メール アドレス	xxx.xxxxx@xxxx.ac.jp
支援希望額	49,040円	大会参加 予定日	9月16日～9月17日(1泊)	
大会準備委員会設置の保育室の利用	<input type="checkbox"/> 有 【 月 日～ 月 日( 日)】 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
支援の使途：旅費、保育や介護に関わる費用など、内訳を明記してください。				
大会参加のための往復旅費 東京～熊本 往 15,870円 復 15,170円				
ベビーシッター利用料金(○○社、派遣サービス) 9:00～15:00, 2日間 1,500円 x 6時間 x 2日間 =18,000円				
合計：49,040円				
支援を必要とする理由				
申請者は8ヶ月の子供をもち、育児休業中である。休業前に進めていた研究内容について、本大会で発表を予定しており、そのための旅費が必要である。また、子供を伴う長距離の移動とホテル等での宿泊は負担が大きいため、自宅にてベビーシッターのサービスを利用することを考えている。支援額5万円の上限にあわせた時間数に自己負担による時間を加えることにより、申請者が大会参加中の2日間の保育について、夫(◇◇社勤務)の仕事への影響も最小限にとどめることができる。 以上の理由により、49,040円の支援を希望する。				

## <記入例2—申請書>

別紙様式1

### 大会参加支援申請書

氏名	△ △ △ △	Ⓜ・女	年齢 (2023年4月1日現在)	30才
所属	〇〇大学大学院 ◇◇専攻		職 学年	ポスドク
自宅住所	〒XXX-XXXX ▽▽区 △△町 ○—○—○	メール アドレス	xxx.xxxxx@xxxx.ac.jp	
支援希望額	24,365円	大会参加 予定日	9月16日～9月17日(1泊)	
大会準備委員会設置の保育室の利用	<input type="checkbox"/> 有 【 月 日～月 日(日)】 <input checked="" type="checkbox"/> 無			
支援の使途：旅費、保育や介護に関わる費用など、内訳を明記してください。  高齢者向けサービス利用料金(〇〇サービス, xxプラン) 20:00～8:00 23,625円  スタッフ派遣のための交通費 370円 x 2 = 740円  合計 24,365円				
支援を必要とする理由  申請者(未婚)は、現在、軽い認知症の母親と同居しながら、研究を進めている。本大会で、これまでの研究成果を報告したいが、夜間に母親を一人にすると徘徊等安全上不安であるために、高齢者向けのサービスに就寝準備から朝食準備を含む夜間の見守りを依頼したい。そのための費用24,365円の支援を希望する。				